

平成23年度第3回公立大学法人滋賀県立大学経営協議会議事録

日時・場所：平成23年12月6日（火）10：00～12：10 評議会室

出席者：曾我理事長、大田理事、菊池理事、仁連理事、北村委員、吉川委員、高橋委員、上野委員

欠席者：南委員、川口副理事長

事務局：堀部事務局次長、垣立総務グループ統括、小島財務グループ統括、高田経営戦略グループ統括、杉野学生・就職支援グループ統括、藤野教務グループ統括、橋本図書情報グループ統括、久保田地域貢献研究推進グループ統括、松野副参事、茶谷主任主事、岩間主任主事

【議題】

(1) 公立大学法人滋賀県立大学第2期中期目標（案）について

資料に基づき高田経営戦略グループ統括から説明があり、内容について了知された。

(主な質疑・意見等)

- ・前文で第1期の目標について全く触れていないが、第1期の取り組みの総括、成果、課題を踏まえた一文があればよかったのではないかと。
- ・研究者の育成、支援の項目で、研究者の卵である大学院生について触れられていない。また、大学院教育の項目で「高度専門職業人養成」とあるが、「研究者養成」ではないのか？
→博士後期課程の充実を目指すなら「研究者養成」が目的となるが、本学の大学院博士後期課程への進学は少なく、修士課程を大学院教育の中心に据えていることもあり「高度専門職業人」としている。研究者の育成、支援の項目は、教員に対するものと位置づけている。
- ・前文で「新時代をリードする創造的な教育研究」と述べられているが、県はどのような時代認識にもとづいて言っているのか見えない。今後6年、時代の変化や社会の変化を見据えた計画を立ててもらいたい。
→「新時代」の分析については難しいが、特に国際的に通用するレベルの教育の質保障は、これからの時代に必要な課題だと考えている。中期目標については6年間変わらないが、中期計画は県の承認を得れば見直しも可能なので、時代に合わせて議論を重ね対応していきたい。

(2) 平成24年度予算（案）について

資料に基づき堀部事務局次長から説明があり、原案どおり承認された。

(主な質疑・意見等)

- ・省エネルギー対策として講義室等消灯活動、図書館除湿器の更新が挙げられているが、活動、更新による節電効果と、設備投資費のバランスの内訳はどうか。
→現在、消灯活動に関しては、学生に依頼しており費用は20数万円。その他節電活動に関しては、今夏（7～9月）に大学全体として取り組み、前年比14%の削減を達成した（関西電力からの節電要請は10%）。除湿器に関しては、購入予算は約800万円。更新により、年間40万円の電気代削減となる。
その他にも、省エネ法に基づく5年間の省エネ計画を作成しており、今年度は体育館の水銀灯を消費電力の少ない電灯に取り替えるなど計画的に進めている。次回に削減計画を報告する。

- ・支出予算の構成比で、人件費が67.6%を占めているが、教職員の人数はどのくらいか。
→現在教員204名（定員210名）、職員55名、契約職員75名である。
67.6%の人件費は、国公立大学の中では高くない。契約職員の雇用によって、人件費が抑制されている。

(3) 平成23年度11月補正予算について

資料に基づき小島財務グループ統括から、報告事項(2)平成23年度中間決算の概要と合わせて説明があり、原案どおり承認された。

(主な質疑・意見等)

- ・「地域イノベーション戦略支援プログラム」の補助金収入として28,043千円、補助事業費として28,043円が計上されているが、研究経費の支出には計上されていない。使途は何になるのか。
→研究経費ではなく、教育研究支援経費内に別枠の地域イノベーション事業費として計上している。
事業を推進するための人件費が使途の中心になっている。

(4) 職員給与等の改定について

資料に基づき垣立総務グループ統括から説明があり、原案どおり承認された。今後役員会で審議し、職員の過半数代表の意見を聞くことになる。

【報告事項】

(1) 公立大学法人滋賀県立大学の理事長（学長）予定者について

資料に基づき堀部事務局次長から報告があった。

(2) 平成23年度中間決算の概要について

資料に基づき小島財務グループ統括から、議案(3)の平成23年度11月補正予算と合わせて報告があった。

(3) 外部資金の獲得状況について

資料に基づき久保田地域貢献研究推進グループ統括から報告があった。

(4) 平成24年度 入学試験日程等について

資料に基づき藤野教務グループ統括から報告があった。

(5) 平成23年度卒業・修了予定者の進路・就職内定状況について

資料に基づき杉野学生・就職支援グループ統括から報告があった。

(主な質疑・意見等)

- ・学部によって就職内定状況に差があるが、男女の内定状況に特色はあるか？
→内定率に関しては男女の差というよりも、理系・文系など分野での差が出ていると思われる。
- ・人間看護学部の県内の定着率はどうなっているか？

→年によって違うが、多い時で60%。少ない時で40%程度の定着率となっている。結果的に各年の県内出身者の割合によるところが大きい。

・11月28日に彦根商工会議所による合同就職説明会を開催したが、参加した学生の反応はどうだったか。商工会議所でもフィードバックし改善していきたいので感想が知りたい。

→参加人数は把握しているが、感想についてはまだ把握していない。就職相談の際に、窓口で学生の感想を聞くようにしていく。

【その他】

(1) 次回経営協議会について

高田経営戦略グループ統括から、公立大学法人滋賀県立大学第2期中期計画を、県へ認可申請を行う前に経営協議会に諮り承認を受ける必要があるため、臨時経営協議会開催の要請があり、臨時経営協議会を1月11日(水)10時~開催することとなった。